

令和3年度 第1回 岡山県道路交通渋滞対策部会 議事概要	
日時:令和3年8月23日(月) 13:00~14:45 場所:国土交通省 中国地方整備局 岡山国道事務所 3階 会議室(Web会議併用)	
要 旨	(1) 渋滞対策部会の概要 (2) 主要渋滞箇所の対応状況 (3) 主要渋滞箇所の特定解除 (4) 観光地における渋滞対策 (5) 岡山倉敷都市圏のモビリティマネジメント(MM)の検討状況 (6) ニューノーマル時代の交通需要マネジメントについて (7) 岡山・倉敷都市圏の渋滞状況
事務局	(1) 渋滞対策部会の概要、(2) 主要渋滞箇所の対応状況、(3) 主要渋滞箇所の特定解除について説明
岡山県	特定解除に異存はないが、唐船交差点について、方向③である県道において速度低下が残存している。玉島笠岡バイパス(Ⅱ期)や笠岡バイパスの整備によってより速度が向上すると思われるが、開通までに信号現示の振り分けなどの対策を考えていただきたい。
会長	玉島笠岡バイパス(Ⅱ期)や笠岡バイパスの整備はまだ時間がかかると思われるため、できることから実施していきたい。
岡山市	津島京町交差点について、方向③の速度低下が大きく改善されているので、方向①についても信号現示を振り分けなどの対策を実施すればよいのではないかと検討いただきたい。
事務局	交通状況を引き続き注視する。
バス協会	津島京町の周辺状況は旧道とセットで考えるべきである。バスは旧道を走行しており、バイパスは速度低下が解消したが、旧道はどのような状況となっているかを教えていただきたい。
事務局	データは持ち合わせていないが、周辺状況を引き続き注視する。
会長	2箇所の特定解除について異存はないか。
一同	異存なし
事務局	(4) 観光地における渋滞対策について説明
倉敷市	倉敷美観地区へのアクセスルートが分散されたのは倉敷立体の効果であると考えられる。 また、美観地区においては、令和元年度までは渋滞対策として倉敷市役所から美観地区までゴールデンウィーク(春季)およびシルバーウィーク(秋季)においてシャトルバスを運行していた。令和3年度は、春季は3日間のみ実施(その際に緊急事態宣言が発令され、残りの10日間は中止)、秋季は中止の方向である。
会長	引き続きモニタリングを実施していく。
事務局	(5) 岡山倉敷都市圏のモビリティマネジメント(MM)の検討状況について説明

中国地方整備局	令和3年度新規の『高速道路の活用』は、具体にはどのような施策を実施するのか。
事務局	具体的な施策は検討中である。
会長	本局・事務所で調整しながらネクスコとも調整をしていければいいと思う。
西日本高速道路(株)	GOODROUTE プロジェクトの取組みは交通転換の視点から重要な取り組みであるので、関係者で連携・調整しながら計画を進めさせていただきたい。
事務局	どのような施策が実施できるか、検討していきたい。
会長	道路管理者だけでなく、一般の企業など様々な方と連携しながら進めていただきたい。
事務局	(6) ニューノーマル時代の交通需要マネジメントについて事務局より説明
西日本高速道路(株)	分析対象の総トリップ数や岡山西バイパス周辺の到着トリップ数を分析していたら教えていただきたい。
事務局	具体的なデータを持ち合わせていない。中心部と比較すると少ないが、トリップが存在し、面的に広がっていることから、一定数は存在すると考えられる。
西日本高速道路(株)	引き続き情報共有を図りながら計画を展開していければよい。
事務局	(7) 岡山・倉敷都市圏の渋滞状況について説明
倉敷市	美観地区を含め、倉敷駅周辺は慢性的な渋滞が発生している。
会長	渋滞対策WGを立ち上げることに異存はないか。
一同	異存なし

(以上)